



# 明峰

令和7年6月6日

第 6 号

校長 岡野利男



生徒会掲示板

毎月、素敵な掲示が美術同好会の手で、なされています。

## いざ、中総体へ!!

ミスタープロ野球こと、長嶋茂雄さんがお亡くなりになりました。とても寂しいことです。長嶋さんは、選手・監督としての輝かしい成績によって国民的スーパースターとなり、2013年には国民栄誉賞を受賞された方です。戦後の日本、そして日本国民に夢と希望を与え、「明るさ」「元気」「憧れ」を届けたことがその理由となっています。

長嶋さんが選手を引退したのは私が小学校1年生の時でしたが、有名な引退セレモニーの場面は、実は記憶にありません。はっきりと記憶にあるのは、翌年監督1年目の成績が、「巨人軍初の最下位」だったことです。プロ野球というものに関心が向き、その仕組み等が分かって好きになったのが、たまたま小学校2年生の頃だったというだけの話ですが、後に知った長嶋選手のプロデビュー戦が「4打席連続三振」だったことと重なって、私の中では長嶋さんを象徴する出来事です。

『**勇気とは、うまくいかない時にも笑って前を向くこと**』数々の名言を残された長嶋さんですが、私はこの言葉が好きです。先の監督1年目の成績、デビュー戦の話につながります。

さて、校長室前の廊下に小さな黒板があります。毎週、生徒に向けて、メッセージを書き記していますが、今週はこんな内容にしました。

### 闘いは己の中に

対戦相手が決まった今、改めて確認です。

闘う相手は自分自身

技は磨いても、心を磨き抜いた者は多くない。

**客観すること、分析すること、修正すること**

積み重ねた日々を信じて舞台に向かいなさい。

文中の「客観」「分析」「修正」にはこんな意味を込めました。

**客観**—自分自身を少し離れたところから見る

**分析**—冷静に「なぜうまくいかないのか」考える

**修正**—積み重ねた練習を思い出して、立て直す。

どんな素晴らしい選手でも、どんなに強いチームでも、試合において、あるいは大会中に「うまくいかない時」はある。その時こそ、長嶋さんの言葉のように、前を向いてほしいと思います。弱気になることなく、腐ることなく、笑って前を向いてほしい。そして、客観し、分析し、修正する明峰中選手諸君であってほしいと思っています。健闘を祈ります。

## 中総体激励会にて

昨日の激励会、どの部も立派な決意の表明でした。大きな声での校歌斉唱も素晴らしかった。女子バスケット部の決意表明を紹介します。

私たち女子バスケットボール部は、県ベスト4を目標に掲げ、今、この舞台に立っています。

この目標を追い続ける中で、学校でも学級でもリーダーとなり、どんな時でも全力で本気で取り組み、技術だけでなく、心も磨いて、チームとしての強さを築いてきました。

これまで過ごした時間の全てが今ここでの力となります。

ここまで歩いてこられたのは、支えてくれたすべての人のおかげです。

応援し続けてくれた仲間、指導して下さった先生方、そして支えてくれた家族。

その期待と愛情に応えるために、私たちができることは、最高のプレーを届けることです。

言葉だけでなく、プレーで感謝を伝えます。

全力で戦う姿で、支えてくれた人たちへの恩返しをしたいと思います。

一つ一つのプレーに気持ちを込め、仲間と共にこの瞬間を刻んでいきます。

私たちは、この大会にすべてをかけ、必ず優勝旗とともにこの明峰中に帰ってくることを宣言します。

応援よろしくお願いします。

また、全選手代表で選手宣誓した陸上競技部の山口雅陽さん、北島ゆいりさん、大変立派でした。

### 宣誓

私たち選手一同は、一日一日を大切にしながら練習に励んできました。

これまで支えて下さった先生方、家族、コーチや監督、そして仲間たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

その思いを胸に、私たちは最後まであきらめることなく戦い抜くことを誓います。

「**明朗**」に前を向いて、

「**自律**」の心で自分に負けず、

「**友愛**」の精神で仲間を信じ、支え合いながら、最後の一瞬まで全力を尽くします。

そして、人としても成長した姿で帰ってくることを誓います。

子供たちの「言葉の力」…素晴らしいです。